

印刷メディアにおけるイラスト手法 水墨画の表現を活用した印刷メディアへの展開

Development on print media utilizing representation of ink painting.

大掛 千佳世 指導教員 氏家 和彦
サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 生活文化マネジメント研究室

日本の伝統文化は優れている。しかし、これは時代が流れるにつれ忘れ去られる傾向にある。世代を問わず伝統文化への関心度を調査したところ、関心を持つ人は半数近くいた。つまり、潜在的に興味を示す対象物であることが分かる。そこで、日本の伝統文化とその技術を思い出すことで、伝統文化離れに歯止めをかけていく。その為、水墨画の技術を現代の印刷技術で再現を行い、水墨画の表現を用いた広告を制作する。

キーワード：水墨画, 伝統文化, 印刷, 広報物

1. 研究目的

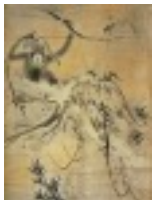
日本の伝統文化への関心度が高いことに対し、伝統技術は民衆に忘れ去られる傾向にある。そこで、日本の伝統技術を思い出してもらうことで、伝統文化離れを防ぐ。その為に、民衆が技術を身近に感じるとような提案をする。

2. 調査内容

日本の伝統文化の表現技法に興味があった事をきっかけに、時代ごとの日本の絵画を調査した。その歴史は室町時代の平面的な山水画から始まり、華やかな装飾の入った安土・桃山時代の花鳥画が生まれ、遠近法や陰影法が使われた日本画が生まれた。



1.山水画
鎌倉時代から室町時代
中国の宋・元の画風(漢画)



2.花鳥画
安土桃山時代
華やかな装飾画

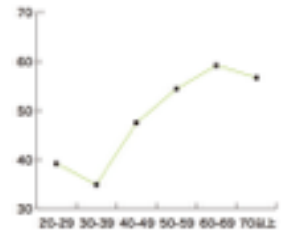
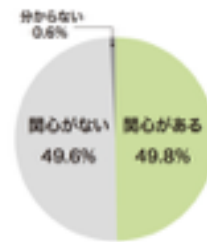


3.日本画
風景を多く描かれた
遠近法や陰影法が使われた

この日本画は日本に留まらず、ドガやゴッホなど世界的に有名な画家に影響を与えた。墨の濃

淡で表現した遠近法は、現代絵画の原点であると言える。そこで、墨を活かした表現の幅が広い日本画に焦点を絞った。

次に、日本画を含む伝統芸能への関心度を調査した。(内閣府大臣官房政府広報室調べ)



質問に対して、2094人中、約半数が「興味がある」と答えている。しかし、細分化し「年齢別調査」の結果を見ると、60歳以上の方と20代から30代の方の結果を比較すると、年齢が若くなるほど関心が低くなっている事が分かる。



・女性の主婦の方が最も関心度が高い

また、「職業別調査」の結果を見ると、労務者の関心が低くなっている事が分かった。そこで、偏りをなくす為に20代から30代の方を対象として

設定した。

多くの人に興味を持ってもらうように、対象年代の方々が多く利用する通勤手段を計7991人に調査した。また、より多くの労働者の目にとまるよう、調査場所を大都市に選定した。



結果、半数以上が電車を利用していることがわかった。その為、通勤時間の合間に目に留まりやすいと考え、広告の設置場所を電車内に設定する。以上の調査より、伝統文化の関心を高める事を目的とし、水墨画の技術を活用した広告物を制作する事で、現代のイラスト表現の幅を広げる。

3. アイディア展開

水墨画の技術研究として、基礎的な技法の表現を練習した。主に墨の濃淡による遠近感の出し方、点・線・面から構成される、季節の植物を描いた。



次に最終提案物として、水墨画をデジタル再現した広告物の提案を行う為、前段階として、手書きでの墨色、デジタル (CMYK、RGBそれぞれ10%刻みのグラデーション)で色の見え方を比較した。(写真左から手書き、CMYK、RGB)



すると、手書きの墨の色を元にするるとCMYKのデータは黄みが強く、RGBのデータは青みが

強く現れた。また、ディスプレイが表示可能な色相に限りがある為、表示しきれない色の境目に縞模様が見えた。

4. 最終提案・課題

現段階では、調査を元に水墨画の基礎練習や簡易なイラスト表現、デジタルでの色の見え方について実験した。その結果、技術面の向上とデジタルとアナログの色の見え方の差を減らす事の課題が挙げられた。そこで、今後は技術面では、水墨画作品の模写を行い、応用的な技術を学ぶ。色の差については、補色で色を調整し墨色に近い色を研究する。この事により、結果として、印刷メディアにおけるイラスト表現の幅を広げ、新たな可能性を見出す。最終提案としては、オリジナルの水墨画広告を制作する。

5. 今後の展開

水墨画の技術研究と共に、取り上げる社会問題をどう水墨画で表現するかを検討する。それに応じたデザインを考え、水墨画をデジタルで再現した広告を制作する。また、混色する事で、墨色に近いグレーを出す研究を行う。制作するにあたり、広告のデザイン、及びビジュアル面は学内でアンケートをとり、多くの人に興味をもつデザインの調査をする。

6. 参考文献

1)時代ごとの水墨画：水墨画の歴史

<http://www.bokusaian.com/history/>

2)内閣府大臣官房政府広報室調べ：世論調査

<https://survey.gov-online.go.jp/index.html>

3)通勤手段の割合：通勤に関するアンケート調査

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/business/files/D18-2.pdf